



小学生のころの私にとって思い出深い特別な場所はいくつかあります。校内の「ザ・ビッグ・ツリー」という見た目どおりの名前で、子どもたちの遊び場となっていた大きな木や告白の定番スポットになっていたアートルームの裏の小さな広場。そして、特に思い出に残っている場所は学校の道路の向こうにあるミルクバーです。

今回は、ミルクバーのことをお話しします。



今日から使える

## ひとこと英会話

### Lesson 3



オーストラリア人をお願いされたときや謝罪されたときに一言

"No worries!"

読み方 「ノー ウォリーズ」

意味 「いいよ・分かった・大丈夫」

オーストラリアとニュージーランドの代表的なフレーズの一つで、私の口癖の一つでもあります。オーストラリア独特の表現ですが、ほかの英語圏でも通じます。

皆さんも気軽に使ってみてください。

## 思い出のミルクバー

### 子どもが大好きなミルクバー

ミルクバーとは、オーストラリア特有の店です。元々は牛乳と新聞を売る店でしたが、時代とともに変化し、今はお菓子も売っています。そのため、ミルクバーの客はほとんど子どもです。

放課後、毎日一人でミルクバーに入り、お小遣いを片手に何をかうか慎重に考えている子どもたちもいましたが、悲しいことに私の両親はお菓子のためのお小遣いをめったにくれませんでした。そのため、両親がミルクバーのために2ドルくれた日のことは鮮明に覚えています。

その日は、授業が終わると急いで校庭を出てミルクバーに行き、アイスクャンディーを買いました。

### 今でも覚えている特別な空間

ミルクバーは、大きな窓に広告がたくさん貼られていて、いつも涼しく、夏の暑い日に最適な空間でした。カウンターに並ぶチョコレートやポテトチップ、10セントの激安飴。そして、私を待っているアイスクャン



▲オーストラリアのビクトリア州にあるミルクバー

ディー。何がどこに置いてあったか、今でも頭の中ではっきりと覚えています。



▲オーストラリアのアイスクャンディー

### 思い出のミルクバーが…

数年前、好奇心で通っていた小学校を訪ねました。

しかし、私の小学校は無くなっていて、とてもショックを受けました。学校が廃校になったとは聞いていましたが、実際に見に行くと、校舎が全部撤去されていて、ザ・ビッグ・ツリーはただの切り株に。アートルームの裏の告白スポットも場所が分かりませんでした。

学校が無くなったことで、道路の向こうにあったミルクバーも空っぽの部屋になっていました。といっても家の近くにもう一つミルクバーがあるので、子どものころのミルクバーを失った悲しさは割と早く無くなりました。ただ、ミルクバーを大事にしたいという思いは強くなりました。

### 皆さんもぜひ行ってみてください

皆さん、もしオーストラリアを訪ねてミルクバーを見かけたら、ぜひ入ってみてください。オーストラリアでのみ売られているお菓子だけでなく、ミルクバーの特別な空間を皆さんにも味わってほしいです。